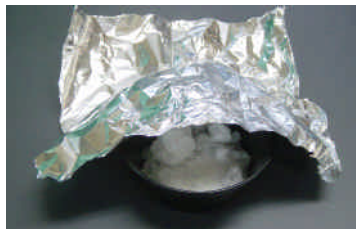




取り扱い注意事項をよく読み作業を始めてください

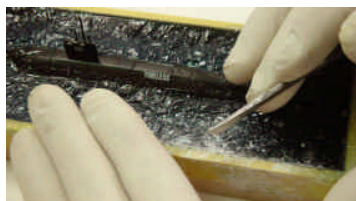
制作方法



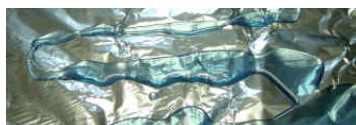
(材料を溶かす)



(下地を制作)



(削り取る)



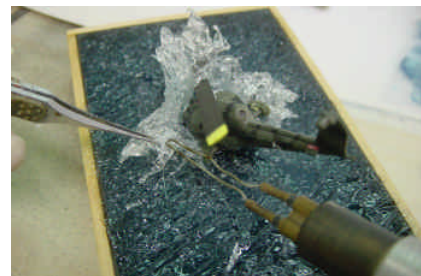
(モデリング用部品)

- 材料を金属か紙コップに入れます
色をつける場合は、別売りの色の種を入れます
量の目安は180gにたいして青の種9g程度少しずつ入れて調色します
緑の種は1〜2g好みで入れてください
- ホットプレートの温度を140〜150℃に設定します
材料を入れた容器をプレートに置きアルミ箔などで蓋をしてください
加熱時間は、量によりますので蓋を取り確認します
色の種を入れた場合は、溶けたときに混ざります
- 気泡が無くなり、透明になりましたら使用できます
表面に残った気泡は、ドライヤーでも消えます
- ヘアの換気を良くして、保護メガネ/手袋をつけ作業します
紙コップを使う場合は、特に注意してください
- 溶かした材料をジオラマ製作用のBOXに3mm程度入れます
この際、気泡が出来た場合半田こて/ドライヤーでそれを潰します
(表面に波表現がある場合は小さい気泡は、無視します)
- 柔らかいうちに模型を置きます
模型の中の空気の逃げ場がない場合は、
小さい穴を前もって開けておきます (0.5mm程度)
硬くなって置けない場合は、部分的に溶かして置きます
- 数ミリつつ繰り返して解けた材料を目的の位置まで入れていきます
この際も、気泡が出来た場合半田こて/ドライヤーでそれを潰します
模型が浮いてこないことを、確認します
繰り返して入れない場合は、模型が浮いてこない様にするか、
ある程度硬くなるまで固定します
- 最後の材料を入れた後、シワを付けたアルミ箔を載せて押さえます
アルミ箔のシワは、あまり細かくならないように付けます
この後の作業で、修正できます
繰り返して入れない場合は、アルミの上から押さえます (火傷に注意)
- 材料が十分に冷えた後、アルミ箔を丁寧にはがします
細かい破片が飛び散る場合がありますので保護メガネをかけます
- BOXの周りの余分な部分/波の部分の出すぎた場所/模型の周りの
不必要な部分をスクレーパーなどで削り取ります
欠けさせるように削り取ります
模型の周りは傷を付けないように削り取ります
(模型との接着力は、小さいです)
削りすぎた場合は、この後の作業で、修正できます
削った破片が散らばらないように周りを工夫します
- 不必要な部分を削り取りましたら、筆などで掃きだします
模型の表面の細かい破片が気になる場合は、
麵棒に軽く水をつけて拭き取ります
(作業中は、保護メガネ/マスク/ゴム手袋を使用します)
- 表面の白くなったキズは、ドライヤーなどで熱を与え透明にします
熱を加えすぎて、模型を変形させたり
波の表現を潰さないように注意します
- 流し込む材料の残りは、モデリング用の部品の製作に使います
アルミ箔/シリコン板の上に幅4mm程度に流します
幅が不均一になっても問題ありませんそれなりの使い方があります
材料が冷えて硬くなりましたら丁寧に剥がし 紙コップなどに立てます



(モデリング1)

半田コテでモデリング部品と付ける所を溶かして
盛上げてます コテ先に変色した部分は、
半田コテスポンジに水をしみ込ました表面で掃除します
取れない場合は、クリーナーで除去します
煙が出るようなら温度が高すぎます



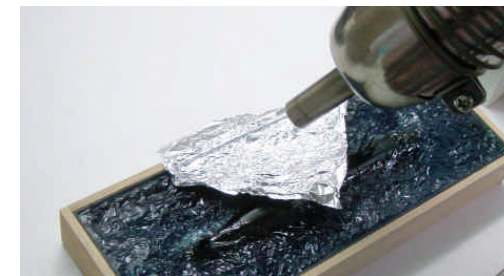
(モデリング3)

半田コテでシブキの部分を暖めて湾曲させます
先端をピンセットではさみ 伸ばします
いい長さのところをコテで溶かし切ります
柔らかいうちにへらなどで形を調整します



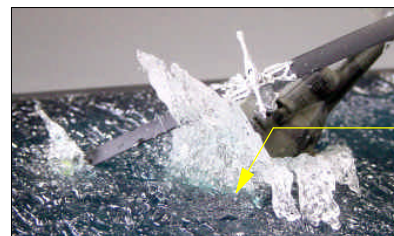
(モデリング2)

半田コテでモデリング部品と付ける所を溶かして
接着します シブキの高さの位置で溶かし切ります
不必要な部分を取り除き コテの熱で柔らかくして
ピンセットなどで変形させます
ゴム手袋をして作業してください



(修正)

波の部分の修正は、表面を少しドライヤーで
溶かしてアルミ箔を置き 再加熱します
その後、手袋をはめた手で押して シワの模様を
トレースします
半田コテでも波は造形出来ます

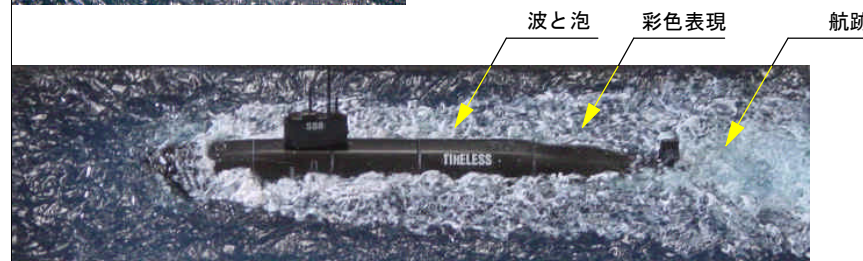


波シブキ

波シブキ: 透明な場合下の部分に色つきの材料を
溶かし付けます

波と泡/航跡: 表現したい場所を掘り込み
細かい破片を溶かしきらずに接着し
空気が入るようにします
白っぽい淡いブルーの表現が出来ます

彩色表現: 水性アクリル絵の具で画きます



波と泡

彩色表現

航跡

詳しくは、ホームページをご覧ください

BISCUIT CLUB (web.kyoto-inet.or.jp/people/biscuit/index.html)



取り扱い注意事項

- 1 本製品を購入/取り扱いは、18歳以上とします
小さいお子様のいる家庭では、誤飲など特に注意し保管してください
- 2 本製品は、加熱して使用しますので指定温度範囲内で使用してください
直火を避け温度調整が出来る機器を使用してください
最高温度は、165℃とします それ以上の温度の場合、発火の危険があります
また、高温状態/温度が高すぎる場合変色します
- 3 加熱作業中は、締め切った室内でせず 十分な換気を行ってください
白っぽい煙を吸い込むと気分が悪くなるおそれがあります
換気をしながらでも、必ずマスク着用のこと
温度が高いので火傷をする場合がありますので 厚手の手袋を使用してください
溶けた材料が皮膚についた場合、大量の水で冷やして 医師に相談してください
気分が悪くなった場合、作業を直ちに中止し外気を吸いましょう
状態が変わらない場合 医師に相談してください
- 4 モデリング作業中は、締め切った室内で作業せず
十分な換気をしながら作業してください（加熱モデリング作業の場合）
細かい破片が目/鼻/口に入る場合がありますので、保護メガネ/マスクをしてください
誤って口や目に入ったときは、大量の水で洗い流して 医師に相談してください
手に付くと少しべたつきますので ゴム手袋を使用してください
付いた場合 中性洗剤で洗ってください
- 5 完成品は室温が7℃から40℃範囲で保存してください（直射日光は避けてください）
熱可塑性ですので高い温度では、製作した波/シブキなどが 変形する場合があります
- 6 室温が5℃以下でヒビが入った時、室温が上がり数日で自己補修する場合があります
- 7 本製品は、炭化水素化合物（ワックス類似物）可燃物です 火気に注意
- 8 使用目的以外に 利用しないでください

制作に必要な工具

- * 材料を溶かす ホットプレート
半田コテ（温度調整が出来るもの）
ドライヤー（ワット数が高いもの/ヒートガン）
スクレーパー/金属の棒など/アルミ箔 etc
- * 除去材 ストロングクリーナー（ホルベイン）/ベンジン/（石油系）
- * 販売品 クリスタルワックス(180g) / 色の種（青の種/緑の種）



ビスケットクラブ

〒601-8203 京都市南区久世築山町376-5
TEL/FAX 075-931-3009
URL web.kyoto-inet.or.jp/people/biscuit/index.html
Mail biscuit@kuze.ne.jp

Crystal Wax^{Agua}



クリスタルワックス-アグア ジオラマの高透明度の水表現に最適なプロマテリアル

透明な飴細工のようにジオラマに流し込め 模型からはがれやすく
波やシブキ表現や海底から水面を見たような表現も出来ます



1/700潜水艦のジオラマ

底板が透明アクリル（ライトアップが可能）

1/144 イロコス
墜落シーン



底板から見る

